

## 研究開発課題中間評価結果

事業名（年度）	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業 （令和4年度～令和8年度）
研究開発課題名	遺伝的多様性と機能に関するマルチオミックスを中心としたヒト免疫評価法の確立と支援の為のサポート機関
代表機関名（所属 役職）	国立研究開発法人 理化学研究所（生命医科学研究センター・センター長）
研究開発代表者名	山本 一彦

**【総合評価】** 良い

### 【評価コメント】

免疫機能について、遺伝的多様性を含めた高度な解析体制を既に確立しており、日本人集団の免疫細胞の機能分析がなされ、特にゲノム情報とオミックスデータの連携による機能解析に取り組んでおり、その成果に期待する。

京都大学主導で、3つの解析系サポート機関（京都大学、東京大学サポート機関、本機関）の3機関で免疫システムズ・バイオロジー・コンソーシアムを構築して、各機関が分担して解析を行う協働支援体制が整いつつあることは評価できる。

各拠点のワクチン研究開発に、本機関の免疫機能の解析能力等がどのように貢献できるのか、また、貢献するためどのような解析等が求められるのか、現時点ではその道筋が明確ではない。各拠点が本機関や免疫システムズ・バイオロジー・コンソーシアムに対してどのようなサポートを期待しているのか十分に把握・理解し、各拠点とより詳細な情報交換を行い、拠点支援体制の構築を進めてほしい。本機関の本事業における果たすべき役割についてさらなる検討が必要である。

以上